



2007 年度第 8 号



やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

2008 年 1 月 12 日

理事長からの年頭の挨拶

(西郷理事長)

補習校の皆様、明けましておめでとうございます。昨年はいろいろなことがありましたが、植木校長先生、西村、木下両教頭先生のご指導の下、各校の先生方、事務局の方々、保護者の皆様、理事会が一丸となって協力し乗り切ることができました。見えるところ、また見えないところで当補習校のためにご奉仕いただいたお一人お一人に心から感謝申し上げます。

1 月 5 日、2008 年最初の授業日はあいにく大降りの雨となりましたが、サンノゼ小学校では新年お楽しみ会が開かれ、こま回し、書初め、お茶が立てられて子供たちが楽しいひと時を過ごしました。その後、中高部に行きましたら、ちょうどお昼の時間でした。強い雨と風の中、屋根だけついたパビリオンにみなが集まり、冷たいコンクリートの床に薄いビニールシートを敷いてお弁当を食べていました。風がビュービュー吹き込む中、背中合わせに輪を作って仲良くお互いを暖めあいながら食べているグループや T シャツ一枚で何か大声で話しながら食べているグループもあります。「寒くない?」と訊くと「もちろん寒いっすよ!」と元気な答えが返ってきました。大急ぎで昼食を終えて、みないっせいにバザーに駆けつけます。お互いが持ち寄った、お菓子、本、CD や家庭用品が所狭しと並べられていて、生徒たちが黒アリののように集まっています。雨足がいつそう強くなっても、濡れるのも気にせずうれしそうに笑っている生徒たちを見て、輝いている宝石のように感じました。彼らから力と勇気をもたらした気がして私も本当に嬉しくなりました。

平成 20 年度新学期から幼稚部開設を目指して、今着々と準備が進められています。幼稚部では日本語を通して友達となかよく遊び、集団で生きてゆく基礎を身に付けていきます。友達、先生との活動を通して、喜びを見つけ、親しみやきまりをまもろうとする気持ちを持たせます。また、あいさつや会話のなかで自分の気持ちや聞いたことなどを、絵や言葉で伝えることができるようになります。

幼稚園から高校までの一貫教育を通して、世界に羽ばたき架け橋となる子供たちを育ててゆくことが、私たちサンフランシスコ日本語補習校に関わる全員の願いだと信じております。

生徒数 1100 名余り、世界第 3 の大規模補習校となっても、「子供たちのために手作り」という基本姿勢は変わらないと思います。より良き学校づくりのため、なおいっそう皆様のご協力をお願いいたします。

この新しき一年が補習校の皆様にとって、元気で希望と笑顔の満ちる一年となりますよう祈念致します。

第 5 回理事会

(藤井理事)

今回の理事会ではまず、理事長挨拶、学事報告に続き、山口保護者会代表会長とアルドリッチ保護者会会長より当校先生方へのホリデーランチと現地校先生方へのホリデーギフトの報告を受けました。本年度はホリデーギフトに父兄の真心のこもったバスケットを渡され、現地校の先生方にも大変喜ばれたとのことです。

植木校長より、ニューヨークで行われた平成 19 年度補習授業校派遣教員研究協議会の報告を受けました。外務省・文部科学省・海外子女教育振興財団の後援により、北米地区 31 校、欧州地区 5 校、大洋州地区 2 校、合計 38 校の派遣教員の方々が集われ[これからの補習授業校のあり方について][保護者に対する情報発信のあり方について]をテーマとした活発な研究協議のご報告に、理事一同派遣教員の方々とともに是からもより良い補習授業校にしていくことを確認致しました。

平成 19 年度 卒業式当日の時程の報告を受けました。また、今年度より高等部を規定通り 2 年の課程を修了したものについては卒業認定するとし、卒業証書が授与されるとの報告を受けました。

幼稚部設立委員会 土井委員長より、平成 20 年度幼稚部入学案内等の報告を受けました。いよいよの幼稚部のオープンに期待したいと思います。

財務部からは平成 20 年度の予算案の報告を受けました。また、渡辺法規委員長より定義変更の報告を受けました。本年度第 1 回理事会で「JCCNC (北加日本商工会議所)の教育委員長が本校の顧問に就任する」ことが承認されたことに基づき定義第 11 条を改定致しました。

保護者より寄付



小学部サンノゼ校の保護者である山下様より、500 ドルの寄付金を頂きました。厚く御礼申し上げます。

左：城田主幹

右：山下雪代様

借用校訪問

12月5日、学校長、西村教頭、城田主幹、太田主幹、事務総長がサンノゼ校の借用校である Cupertino 校と Kennedy 校を訪問しました。また13日には、学校長、木下教頭、デイシー主幹、牛島主幹、事務総長、山口保護者会代表会長がサンフランシスコ校の借用校である Giannini 校と Hoover 校を訪問しました。各校において平成20年4月から集中学習前までの契約を済ませました。この訪問は恒例のホリデーシーズン挨拶も兼ねており、補習校から借用校校長先生及びスタッフへのギフトを手渡し感謝の意を表しました。

人事異動

退職 中高S J教員 ウィリアムズ友美(12月15日付)

採用 中高S J教員 片山 智子(1月12日付)

退職 小S J用務 柏 法光(12月15日付)

採用 小S J用務 桜井 勇輔(1月5日付)

事務局よりお知らせ

1月、2月の主な行事予定

月	日	行事予定
1	12	幼稚部・小学部 SF 校入学説明会
1	19	幼稚部・小学部 SJ 校入学説明会
1	26	小学部新1年生面接 (SF 校、SJ 校)
2	2	小学部新1年生面接 (SJ 校) 幼稚部抽選会[定員超過の場合のみ] (SF 校、SJ 校)
2	16	幼稚部面接 (SF 校、SJ 校)

平成20年度幼稚部の入学受付について

平成20年度4月に幼稚部を開設いたします。現在入学を希望する幼児についての入学願書を受け付けております。入学を申し込まれる方は、本校事務局までご連絡ください(415-989-4535)。

【出願資格】

保護者が当地での職務に派遣される者、または、理事会が承認する者で、将来日本の学校に入学・編入しようとする計画を持っている者のうち、平成14年(2002年)4月2日から平成15年(2003年)4月1日までに出生した幼児に限ります。

【学校説明会】

入学希望幼児及び保護者を対象として、入学説明会と新入生面接を次の通り実施いたします。

小学部サンフランシスコ校	小学部サンノゼ校
入学説明会 1月12日(土)	学校説明会 1月19日(土)
新入生面接 2月16日(土)	新入生面接 2月16日(土)

【面接内容】

- (1) 日本語で意志の疎通が図れる。
- (2) 教師の指示が聞き取れ、それに従える。
- (3) 面接時間中(15分程度)落ち着いた受け答えができる。

【入学申し込み方法】

入学申込書、入学前健康調査票、出生を証明できる書類(パスポートのコピー等)を本校事務局までご送付ください。必要フォームは本校ホームページ(<http://sfjlc.org>)にてダウンロードしていただけます。なお、願書受付の締切は1月26日です。

【入学選考】

- 1) サンフランシスコ校、サンノゼ校でそれぞれ定員を40名(1学級20名×2学級)と設定しているため、定員を超過した場合は面接の前に抽選を行い、優先順位を決定します。
- 2) 書類審査及び面接を行い可否を決定します。

平成20年度新1年生の入学受付について

平成20(2008)年4月から小学部1年生に入学を希望する児童についての入学願書受付を12月1日から開始いたしました。入学を申し込まれる方は、本校事務局までご連絡ください(415-989-4535)。

【出願資格】

保護者が当地での職務に派遣される者、または、理事会が承認する者で、将来日本の学校に入学・編入しようとする計画を持っている者のうち、平成13年(2001年)4月2日から平成14年(2002年)4月1日までに出生した児童に限ります。

【学校説明会】

入学希望児童及び保護者を対象として、入学説明会と新入生面接を次の通り実施いたします。

小学部サンフランシスコ校	小学部サンノゼ校
入学説明会 1月12日(土)	学校説明会 1月19日(土)
新入生面接 1月26日(土)	新入生面接 1月26日(土) 2月2日(土)

【面接内容】

- (1) 自分の名前を言え、ひらがなで書ける。
- (2) ひらがなが読め、その言葉が絵と結びつく。
- (3) 日本語で意思の疎通が図れる。
- (4) 教師の指示が聞き取れ、それに従える。
- (5) 学校において自らの力で活動できる。
- (6) 面接時間中(15分程度)姿勢良く座席に座り、教師の話聞くことができる。

【入学申し込み方法】

入学申込書、入学前健康調査票、出生を証明できる書類(パスポートのコピー等)を本校事務局までご送付ください。なお、説明会と面接の案内につきましては、入学を申し込まれた方に郵送にて通知いたします。本校ホームページ(<http://sfjlc.org>)をご参照下さい。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。

発行人：西郷和義

San Francisco Japanese Language Class, Inc.

760 Market Street, #816, San Francisco, CA 94102

電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542

電子メール：理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com

ホームページ：<http://sfjlc.org>

理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。

無断複製・転載を禁ずる。©2008 All rights reserved.